

大分県の農林水産業の概要

特徴・取組

大分県は、九州の北東部に位置し、東西128km、南北116km、標高0mの豊後高田市の干拓地から標高1,000m近くの飯田（はんだ）高原まで耕地が分布し、耕地面積の約70%が中山間地域に位置する起伏の多い地勢となっている。このような地域条件を活かして、米を中心に、園芸や畜産などの多様な農業が営まれている。

産業構造は、県内総生産（令和2年度：4兆4,580億円）を産業別にみると、第1次産業が832億円（構成比1.9%）、第2次産業が1兆4,006億円（構成比31.4%）、第3次産業が2兆9,533億円（構成比66.2%）となっている。

農畜産業では、米から高収益な園芸品目等への転換、おおいた和牛の生産・流通体制の強化、耕畜連携による飼料用米の生産拡大と県域マッチングに取り組み、マーケットインの商品（もの）づくりを加速するとともに、産地を牽引する担い手の確保・育成に力を入れている。

林業では、大径化した高齢林の伐採・利活用の促進や、花粉の少ないエリートツリー（すぎ）など早生樹造林を推進するとともに、造林・育林の担い手育成・確保を進めている。

水産業では、広域回遊資源の回復、良質な種苗の安定供給と海域生産力の向上を図るとともに、海面養殖業における効率的・安定的な生産体制整備を進め、県産魚の販売力を強化している。

大分県では、将来にわたって農林水産業を牽引する戦略品目（※）を設定し、生産力強化や販路開拓、輸出拡大の取組を推進している。

また、県オリジナルいちご「ベリーツ」や「おおいた和牛」、日本一の乾しいたけ「うまみだけ」、「かぼすぶり」といった機能性やストーリー性を備えた特徴ある商品づくりに積極的に取り組んでいる。

※白ねぎ、こねぎ、トマト、いちご、ピーマン、かぼす、なし、ぶどう、きく、茶、肉用牛（繁殖・肥育）、乳用牛、木材、乾しいたけ、生しいたけ、養殖ブリ類（カンパチ、ヒラマサを含む）、養殖ヒラメ、関あじ、関さば、等 27品目

世界農業遺産（平成25年認定）の国東（くにさき）半島宇佐地域は、降水量が少なく、河川からの水利が困難な場所に1,200以上のため池を造って用水供給システムを構築している。稲作のほか、豊富にあるクヌギを使った原木しいたけ栽培やシチトウイ（※）栽培など多様な農林水産業を展開している。
※大分県の国東半島だけで栽培されているカヤツリグサ科という植物で、い草に比べて強健で耐久性に優れ、畳表の材料となっている。

主な農林水産物

ねぎ

干拓地から高原地域まで、標高差を活かした周年栽培が広く行われている。（収穫量全国6位）



夏秋ピーマン

雨除け栽培により作柄の安定が図られ、減農薬栽培への取組など品質の向上に努めている。（収穫量全国3位）



かぼす

全国の収穫量の99%を占める県を代表する品目、果汁飲料がヒットするなど加工需要も高まっている。「大分かぼす」は平成29年5月にGI登録。（収穫量全国1位）



きく

海岸地域から準高冷地までリレー出荷体系が確立。リース施設を活用した新規就農者の確保や規模拡大に取り組んでいる。（出荷量全国10位）



乾しいたけ

豊富なクヌギ資源を活用した原木栽培が盛ん。生産量は全国の38%を占める。（生産量全国1位）



肉用牛

第12回全国和牛能力共進会（令和4年）で全出品区優等賞に入賞し出品団体賞を受賞。「おおいた和牛」のさらなるブランド化を目指す。



木材（すぎ）

日田市や佐伯市を中心に、高品質な乾燥材を県内外に出荷している。（素材生産量全国3位）



あじ・さば

一本釣りによって大分市佐賀間に水揚げされる県を代表するブランド魚「関あじ」「関さば」。平成18年10月に地域団体商標に登録



ぶり（養殖）

豊後水道域で養殖され、収穫量は全国の17%を占める。写真は餌にカボスを添加して生産した「かぼすぶり」。（収穫量全国2位）



ひらめ（養殖）

陸上施設で養殖され、収穫量は全国の27%を占める。写真は餌にカボスを添加して生産した「かぼすヒラメ」。（収穫量全国1位）



大分県内の各地域における農林水産物

北部地域

【農畜産物】水稻（なつほのか、つや姫、にこまる）、豆腐用大豆、焼酎用大麦、白ねぎ、こねぎ、いちご、日本なし、ぶどう、かぼす、ユズ、ギンナン、スイートピー、肉用牛、豚、ブロイラー、茶

【林産物】生しいたけ

【水産物】クルマエビ、ガザミ（岬ガザミ）、ノリ、ドジョウ、スッポン、ウナギ

東部地域

【農畜産物】水稻（早期米、ヒノヒカリ、なつほのか）、醤油用小麦、味噌用はだか麦、いちご、こねぎ、ハウスみかん、かぼす、キウイフルーツ、ユズ、ギンナン、きく、トルコギキョウ、ホオズキ、茶、肉用牛、乳用牛、ブロイラー

【林産物】乾しいたけ

【水産物】タチウオ、クルマエビ、シラス（豊後別府湾ちりめん）、マコガレイ（城下かれい）

中部地域

【農畜産物】水稻（なつほのか、ヒノヒカリ）、いちご、かんしょ、しそ、みつば、にら、かぼす、セミノール（かんきつ類）、茶、中晩柑、肉用牛

【林産物】生しいたけ

【水産物】関あじ、関さば、タチウオ、イサキ、アワビ類、養殖ブリ、養殖クロマグロ、真珠

西部地域

【農畜産物】水稻（ひとめぼれ、つや姫）、トマト、白ねぎ、すいか、はくさい、クレソン、日本なし、ぶどう、ユズ、ギンナン、ばら、肉用牛、乳用牛

【林産物】木材（すぎ）、乾しいたけ、生しいたけ、わさび（葉柄）

【水産物】アユ、ウナギ

豊肥地域

【農畜産物】水稻（なつほのか、ヒノヒカリ、つや姫）、納豆用小粒大豆、醤油用小麦、トマト、ピーマン（夏秋ピーマン）、かんしょ、白ねぎ、かぼす、ぶどう、きく、トルコギキョウ、サフラン、肉用牛、豚、ブロイラー

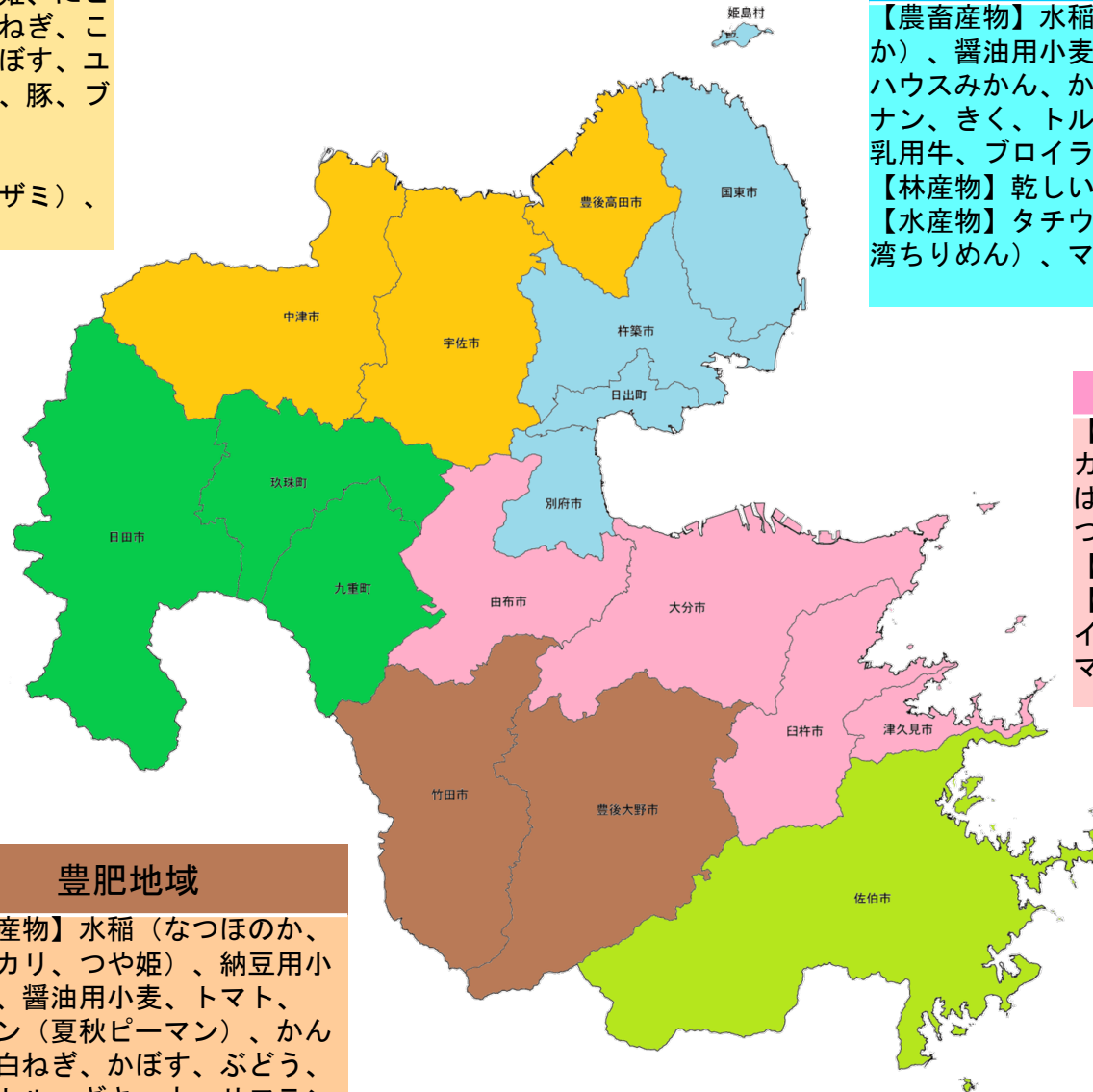
【林産物】乾しいたけ

南部地域

【農畜産物】水稻（早期米、ヒノヒカリ）、いちご、にら、中晩柑、セミノール（かんきつ類）、きく、スイートピー、ホオズキ

【林産物】木材（すぎ）

【水産物】イワシ類、サバ類、アジ類、マダイ、アワビ類、養殖ブリ類、養殖クロマグロ、養殖ヒラメ、養殖シマアジ



大 分 県 の 農 業 (1)

- ・耕地面積は5万4,000haで全国26位。うち田が3万8,500ha、畑が1万5,500ha。
- ・農業経営体数は1万9,133経営体で全国26位。うち法人経営体が718経営体で14位。
- ・認定農業者数は3,796経営体で全国23位。うち法人数が729法人で13位。

耕地面積

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
耕地面積	54,000 ha	4,297,000 ha	26
田	38,500 ha	2,335,000 ha	24
畑	15,500 ha	1,962,000 ha	24
普通畑	8,510 ha	1,120,000 ha	25
樹園地	4,330 ha	253,500 ha	17
牧草地	2,710 ha	589,000 ha	11
参考) 総土地面積	634,070 ha	37,797,539 ha	22

出典:「令和5年耕地面積(7月15日現在)」、「令和6年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	7,822 ha	253,217 ha	12

出典:「令和4年度の荒廃農地面積(令和5年3月31日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	24,497 ha	2,573,672 ha	26
集積率	45.2 %	59.5 %	18

出典:「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和4年度版)」

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

- ・令和6年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用
- ・表中に使用した記号は次のとおり

「O」: 単位に満たないもの(例: 0.4t→0t)

「-」: 事実のないもの

「…」: 調査を欠くもの

「x」: 秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」: 秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
農業経営体数	19,133 経営体	1,075,705 経営体	26
法人経営体	718 経営体	30,707 経営体	14
総農家数	31,954 戸	1,747,079 戸	26
販売農家	18,099 戸	1,027,892 戸	26
参考) 世帯総数	489,249 世帯	55,830,154 世帯	33
集落営農数	462 集落営農	14,204 集落営農	14

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和5年集落営農実態調査結果(令和5年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	21,496 人	1,363,038 人	27
男	13,389 人	822,144 人	27
女	8,107 人	540,894 人	30
65歳以上	16,626 人	948,621 人	27
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	77.3 %	69.6 %	-
認定農業者数	3,796 経営体	219,846 経営体	23
法人数	729 法人	28,720 法人	13
参考) 総人口数	1,123,852 人	126,146,099 人	34

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和5年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

大 分 県 の 農 業 (2)

- ・農業産出額は1,245億円で全国26位。うち米が172億円（13.8%）、野菜が336億円（27.0%）、畜産が472億円（37.9%）。
- ・農畜産物の生産状況は、カボス、ギンナン（イチヨウ）が全国1位、にらが5位、二条大麦、はくさい、ねぎ、ピーマンが6位。
- ・農業生産関連事業は、農産物直売所の年間販売（売上）金額が194億円で全国24位、事業体数は340事業体で27位。

農業産出額

区 分	大分県	全国	全国順位
農業産出額	1,245 億円 (100.0)	90,015 億円 (100.0)	26
米	172 億円 (13.8)	13,946 億円 (15.5)	28
麦類	5 億円	647 億円	15 *
雑穀	0 億円	83 億円	34
豆類	2 億円	715 億円	28
いも類	22 億円	2,199 億円	10
野菜	336 億円 (27.0)	22,298 億円 (24.8)	23
果実	156 億円 (12.5)	9,232 億円 (10.3)	15
花き	51 億円	3,493 億円	22
工芸農作物	16 億円	1,551 億円	15
その他作物	5 億円	607 億円	25 *
畜産	472 億円 (37.9)	34,678 億円 (38.5)	21
肉用牛	153 億円	8,257 億円	15
乳用牛	87 億円	9,013 億円	19
生乳	81 億円	7,916 億円	18
豚	108 億円	6,713 億円	20
鶏	122 億円	9,716 億円	24
鶏卵	46 億円	5,638 億円	31
ブロイラー	58 億円	3,940 億円	14 *
その他畜産物	2 億円	979 億円	24
加工農産物	9 億円	565 億円	12

出典：「令和4年生産農業所得統計」

注：()は農業産出額を100%とした割合である。

農畜産物の生産状況

区 分		年次	大 分 県	全 国	全国順位
二条大麦	収穫量	R5	6,360 t	151,300 t	6 *
はくさい	収穫量	R4	23,300 t	874,600 t	6
ねぎ	収穫量	R4	18,100 t	442,500 t	6
にら	収穫量	R4	3,080 t	54,300 t	5 *
ピーマン	収穫量	R4	6,640 t	150,000 t	6
日本なし	収穫量	R5	7,200 t	183,400 t	7
きく	出荷量	R4	22,300 千本	1,227,000 千本	10
肉用牛	飼養頭数	R5	52,800 頭	2,687,000 頭	13
カボス	収穫量	R3	5,900 t	5,977 t	1
ギンナン（イチヨウ）	収穫量	R3	377 t	950 t	1

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「畜産統計」、「特産果樹生産動態等調査」

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
農産加工	総額 11,312 百万円 事業体数 350 事業体	1,012,818 百万円 28,980 事業体	27 36
農産物直売所	総額 19,382 百万円 事業体数 340 事業体	1,087,897 百万円 22,380 事業体	24 27
観光農園	総額 211 百万円 経営体数 40 経営体	35,999 百万円 5,090 経営体	37 33
農家民宿	総額 107 百万円 経営体数 50 経営体	4,565 百万円 1,170 経営体	12 * 4 *
農家レストラン	総額 664 百万円 事業体数 20 事業体	35,236 百万円 1,330 事業体	25 * 18 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

大 分 県 の 林 業

- ・林業産出額は213.9億円で全国6位。うち木材生産が160.4億円、栽培きのこ類生産が52.2億円。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が全国5位、乾しいたけが1位、きくらげ類が2位、すぎが3位、えのきたけが4位、ひのきが5位。

林業産出額

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
林業産出額	213.9 億円	5,806.6 億円	6
木材生産	160.4 億円	3,604.6 億円	5 *
栽培きのこ類生産	52.2 億円	2,079.5 億円	7

出典：「令和4年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
素材生産量	1,198 千m ³	22,082 千m ³	5 *
針葉樹	1,194 千m ³	20,386 千m ³	4
すぎ	1,018 千m ³	13,238 千m ³	3
ひのき	176 千m ³	2,971 千m ³	5
広葉樹	4 千m ³	1,696 千m ³	34 *
乾しいたけ	生産量 769 t	2,034 t	1
きくらげ類	生産量 200 t	2,997 t	2
えのきたけ	生産量 2,701 t	122,840 t	4 *
たけのこ	生産量 325 t	21,798 t	11

出典：「令和4年木材需給報告書」、「令和4年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
林野面積	454,565 ha	24,770,201 ha	19
国有林	50,466 ha	7,153,338 ha	19
民有林	404,099 ha	17,616,863 ha	17
人工林面積	229,706 ha	10,133,111 ha	16

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
工場数	109 工場	3,804 工場	11
製材用素材の入荷があった工場数	107 工場	3,778 工場	12
国産材のみ	89 工場	3,054 工場	13
国産材と輸入材	18 工場	560 工場	14

出典：「令和4年木材需給報告書」

林業経営体数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
林業経営体数	1,329 経営体	34,001 経営体	6
法人経営体	93 経営体	4,093 経営体	16

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

大 分 県 の 漁 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は385億円で全国11位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面養殖業のひらめが全国 1 位、ぶりが 2 位、内水面漁業のあゆが 9 位、内水面養殖業のあゆが 8 位。
- ・ 漁業生産関連事業は、水産加工の年間販売（売上）金額が54億円で全国 8 位、事業体数は30事業体で15位。

漁業産出額

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	385 億円	14,372 億円	11

出典：「令和4年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	1,914 経営体	79,067 経営体	17
内水面漁業経営体数	42 経営体	4,772 経営体	29

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	3,455 人	151,701 人	17
男	2,917 人	134,186 人	19
女	538 人	17,515 人	13

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
漁船隻数	3,127 隻	132,201 隻	16
動力漁船	2,088 隻	69,920 隻	12

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	38,549 t	3,862,831 t	23 *
海面漁業漁獲量	18,985 t	2,950,992 t	27
あじ類	2,384 t	114,859 t	9
さば類	1,136 t	319,744 t	22
海面養殖業収穫量	19,564 t	911,839 t	13 *
ひらめ	503 t	1,842 t	1 *
ぶり	14,812 t	84,795 t	2 *
内水面漁業・養殖業生産量	225 t	54,115 t	30 *
内水面漁業漁獲量	72 t	22,612 t	21
あゆ	45 t	1,776 t	9
内水面養殖業収穫量	153 t	31,503 t	22 *
あゆ	67 t	3,683 t	8 *

出典：「令和4年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
水産加工	総額 5,447 百万円 事業体数 30 事業体	181,820 百万円 1,460 事業体	8 * 15 *
水産物直売所	総額 431 百万円 事業体数 10 事業体	37,410 百万円 840 事業体	24 * 19 *
漁家民宿	総額 18 百万円 経営体数 10 経営体	5,986 百万円 740 経営体	31 * 15 *
漁家レストラン	総額 224 百万円 事業体数 10 事業体	11,598 百万円 420 事業体	15 * 9 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

大分県の農林水産業の話題等（１）

園芸の生産拡大

県は『農業システム再生に向けた行動宣言』に基づき、ボトルネック解消により県域での産地拡大が加速度的に進む品目を「短期集中県域支援品目」として認定し、課題解決に向けた対策を期間を定めてパッケージ支援するとともに、市町が推進する「産地拡大推進品目」についても、地域が一体となった長期的な産地拡大の取組を支援している。

【短期集中県域支援品目】

☆ねぎ（白ねぎ・こねぎ）

白ねぎ：急速な生産拡大に伴い、早期の経営安定に向けたフォローアップ（雑草対策、土作り対策、スプリンクラー導入支援）

こねぎ：夏季の技術高度化の推進（遮光資材、灌水技術高度化、豪雨対策 等）

☆ピーマン

生産力の増強に向け、経営拡大・技術力向上の支援
（遮光資材、アザミウマ類対策、自動灌水施肥装置 等）

☆高糖度かんしょ

規模拡大や複合経営の促進による「甘太くん」産地の拡大
（スマート農業機械整備、基腐病対策、広域選果場の整備 等）

☆県オリジナルいちご「ベリーツ」

「ベリーツ」ブランド確立に向け、スキルアップの推進
（高収益モデル実証、地区課題プロジェクト、環境制御技術研修、パッケージセンター整備 等）

【産地拡大推進品目（令和５年１１月１日時点）】

地域特性を生かしマーケットニーズのある品目について、５年後の産地の目指す姿や目標などを設定した「園芸産地づくり計画」に基づき実行する取組を支援

☆野菜（１５品目）

白ねぎ、ピーマン、ベリーツ（いちご）、高糖度かんしょ、トマト、にら、こねぎ、にんにく、おおば、パセリ、たまねぎ、スナッPEndウ、えだまめ、さといも、スイートコーン

☆果樹（９品目）

キウイフルーツ、ぶどう、なし、くり、かぼす、ハウスみかん、オリーブ 等

☆花き・茶（５品目）

キク、ホオズキ、茶 等



優良農地確保による
白ねぎ産地の拡大



技術力向上による
こねぎの生産拡大



規模拡大、技術力向上による
ピーマンの生産拡大



規模拡大等による
「甘太くん」産地の拡大



高収益技術の普及拡大
による早期収量の増加



大分県園芸振興大会
（令和５年１０月３０日）

大分県の農林水産業の話題等（2）

水稻新品種「なつほのか」の拡大 と23年度米の食味ランキング

「なつほのか」は、鹿児島県において、「にこまる」を親として育成された新しい品種。

一般的な品種「ヒノヒカリ」と比較して…

- ◆出穂期は4日、成熟期は7日程度早い
- ◆玄米の品質は優れ、食味は概ね同程度
- ◆大粒で千粒重は重く、収量性は高い
- ◆高温耐性に優れ、耐倒伏性は同程度

【「なつほのか」の導入で、作期分散により作業性が向上】

早生の「なつほのか」は、極早生の「つや姫」や、中生の「ヒノヒカリ」の間に成熟期を迎えることから、標高に応じて、複数品種を作付けることで、品種の集中を解消でき、収穫等の作業分散に加え、病害虫や台風等の気象のリスクも軽減できる。

【「なつほのか」の拡大と食味の向上】

令和4年度から県内全域で本格的な導入を行っており、令和5年度の「なつほのか」の作付面積は2,049ha（県水田畑地化・集落営農課調べ）となり、「ヒノヒカリ」に次ぐ県内2番目の面積となった。

今後とも高温の影響が見られる地域を中心に普及を進め、令和6年度は3,000ha以上を目標として拡大を推進していく。また、高温耐性品種である「つや姫」「にこまる」も併せて推進し、バランスの取れた品種構成及び食味向上を目指す。

令和5年度の日本穀物検定協会が発表した米の食味ランキングでは、大分県の4品種全てで特A（「ヒノヒカリ」「ひとめぼれ」「つや姫」「なつほのか（参考品種）」）であった。参考品種を含めた全品種特Aは大分県のみ快挙となった。



「なつほのか」ロゴマーク



大分県HP「なつほのか」のページ

循環型林業の確立

県は、持続可能な林業経営に向けた循環型林業の確立に向け、大径化した高齢林の利活用促進や、早期の活用が可能なエリートツリー(すぎ)など花粉の少ない早生樹造林を進めるとともに、日本一の生産量を誇る乾しいたけの振興に向けた取組を進めている。

- 大径材の加工に対応した加工施設などの整備支援や大消費地での大径材製品の販売支援
- 高齢林の伐採と再造林の促進に向け、意欲ある林業経営者が行う小規模林地集積への支援
- 早生樹による再造林拡大に向けた採穂園や樹苗生産施設整備への支援
- 森林クラウドシステムの整備や資材運搬用ドローンなどスマート技術の導入
- 原木供給体制の整備による、乾しいたけ生産の分業化の推進など生産基盤体制の強化
- 県ブランド乾しいたけ「うまみだけ」を核とした販売や消費拡大活動の展開



乾しいたけ「うまみだけ」PR画像